

もぐもぐだより

宮津市学校給食委員会
 献立作成部会
 令和3年9月9日
 No.6

がつ か ちょうよう せっく 9月9日は重陽の節供!

季節の節目の日を「節供」といい、特に江戸時代に定められた五節供は、今でも大切な行事とされています。

じんじつ せっく 人日の節供 (七草の節供)	がつ か 1月7日	しょうがつぎょうじ し ひ ななくさ た けんこう ねが ななくさ 正月行事を締めくくる日。七草がゆを食べて健康を願う。七草は、 はる ななくさ 春の七草をさす。
じょうじ せっく 上巳の節供 (桃の節供)	がつ か 3月3日	おんな こ まつ いま まつ よ おお しろさけ 女の子の祭り。今はひな祭りと呼ばれることが多い。白酒、はま ぐり、ひし餅、ひなあられなどを食べる。
たんご せっく 端午の節供 (菖蒲の節供)	がつ か 5月5日	おとこ こ まつ しょうぶ じゃきばら もち た 男の子の祭り。菖蒲は邪気払いとされている。かしわ餅を食べる のは、かしわの葉が後継ぎが出るまで葉を落とさないため。
たなばた せっく 七夕の節供 (笹の節供)	がつ か 7月7日	あま がわでんせつ ぎょうじ ささだけ ねが こ ささだけ せいちょう 天の川伝説がもとになった行事。笹竹に願いを込める。笹竹は成長 が早く、中が空洞のため神様が宿ると言われている。
ちょうよう せっく 重陽の節供 (菊の節供)	がつ か 9月9日	こせっく なか とく きょうじ きく ちょうじゆ ねが くり 五節供の中でも特にめでたい行事。菊をめでて、長寿を願う。栗 ごはんも食べられる。

古代中国では、最も大きい一桁の奇数、9が重なる9月9日をととてもめで
たい日とし、菊の花を浮かべた菊酒をくみかわして長生きを願う、重陽の節供
として祝いました。日本には奈良時代に伝わり、菊を飾り、長生きを願う行事に
なっています。給食では、お寿司に食用菊を入れました。目で見て、香りを
楽しんで、味わってください。



コラム～「節供」と「節句」～



「節句」という漢字が一般的に使われていますが、和食
の世界では「節供」という漢字が使われています。では
「節供」にはどのような意味が込められているのでしょ
うか? 「節供」とは、本来は節目の日に神さまにお供えす
る食べ物を意味しました。旬の食材でご馳走を作り、お
供えし、それを皆で分け合っていただくことで、家族や
友人の無病息災を願う。「節供」の最も大切な意義はそこ
にあります。ですから「節句」というより「節供」が、本来
の意味を伝える表現として、和食が世界無形文化遺産に
登録されて以来、強調して使われているのです。